



2学期がスタート

長かった夏休みを終わり、本日から2学期がスタートしました。静まりかえていた学校に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。皆様のご家庭では、どんな夏休みでしたか？今年の夏は猛暑日が続き、熱中症にならないようさまざまな工夫をしながら過ごしたことと思います。夏休み中には、大きな事故の報告もなく、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。まだまだ暑い日が続きます。学校でも熱中症対策で WBGT の数値を確認しながら、水分補給や休憩をとるなど工夫をしていきます。

始業式では、1学期と同じように2学期も「オンリーワン」を目指して、「人を大切にする力」、「自分の考えをもち、表現する力」、「チャレンジする力」の三つの力を意識して過ごしてほしいこと、そして、この三つの力を意識する上で、大切な「3つの幸せ」について話をしました。

「3つの幸せ」とは、1つめは「してもらう幸せ」で、「遊びに連れていってもらった」とか、「勉強を教えてもらった」等、家の人や友達、先生から何かしてもらおうとうれしくなることです。2つめは「できる幸せ」で、「かけ算の九九が言えるようになった」とか、「跳び箱が跳べるようになった」など、できなかったことができるようになることです。3つめは、「してあげる幸せ」で、「誰かが困っていたら助ける」とか、「友だちが独りぼっちでいたら声をかけて一緒に遊ぶ」などで、誰かに何かをしてあげれば、その人は喜び、笑顔になって「してもらう幸せ」を感じます。そして、その喜んで笑顔になった姿を見ることで、自分自身も「してあげる幸せ」を感じ、同じように「幸せ」な気持ちになります。子どもたちには、「この3つの幸せで、どの幸せが一番幸せだと思うか考えてください」と伝えました。

2学期は、この「3つの幸せ」をできるだけ多く感じられるようすることで、「オンリーワン」の子どもになることを目指していきます。今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。（校長 今井智樹）

● 7/30 教職員向け不審者対応訓練を実施しました

7月30日、教職員対象の不審者対応訓練を実施しました。今年、多くの先生が転入されたため、三崎小学校の不審者対応を再確認する訓練にしました。愛知警察署生活安全課の方が不審者役になり、緊張感のある訓練になりました。訓練後、職員同士で、訓練中の改善点等を話し合いました。

「不審者が移動したときの連絡方法が十分でなかった。」「女性職員の教室に不審者侵入したときに抵抗できる道具が欲しい。」「児童が校内にいるとき、職員の叫び声が他の職員に伝わりにくい。」等、貴重な意見が出ました。

ぜひ、ご家庭でも学校外で不審者に遭ったときの対応の仕方などを話し合ってみてください。また、防犯ブザーの電池や取り付け位置の再確認、「子ども110番の家」の場所の再確認など、防犯への取り組みをお願いいたします。



不審者対応訓練の様子

● 異常気象時の児童生徒の安全対策について

8月8日に、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、豊明市教育委員会からの指示を受け、学校では、地震発生に備えて、減災に向けた点検や校内の緊急連絡体制の確認を行いました。南海トラフ地震臨時情報が発表された際の対応については、4月に配付した「異常気象時の児童生徒の安全対策について」の文書（学校のホームページにも掲載）をご参照ください。これから台風シーズンを迎え、異常気象の発生が多くなってきます。今一度、ご家庭でそのときの対応について、確認をよろしくお願いいたします。

● 2学期以降の学校行事について

三崎小学校では、今年度、「オンリーワン」の子どもになるために、「何を教えるか」「どう教えるか」という「子どもを育てる学校」から、「何を学ぶか」「どう学ぶか」という子どもが主語の「子どもが育つ学校」を目指しています。また、4月のPTA総会のときに、今年度の活動を進めるにあたり、次のことを伝えさせていただきました。

我々教職員がゆとりをもって子どもに接することが、子どもの幸せにつながると考え、普段の毎日の授業を大切にしながら、その成果を保護者の方に見てもらうために行っている運動会、学習発表会、持久走大会などの学校行事のやり方を見直し、無理なく行うことでゆとりを生み出し、子どもの主体性を育て、子どもの力を伸ばしていきたい。その他にも、さまざまな業務を効率的に行うことで時間を生み出し、普段の授業の準備により力を入れることで、子どものよさを伸ばし、「オンリーワン」の子どもになるようにしていきたい。

このことを踏まえ、学校運営協議会や校内の運営委員会で何度も議論を進め、今年度の2学期以降の学校行事について次のように実施したいと思います。保護者の皆様にも、この内容についてご理解いただき、学校を支えていただくようよろしくお願いいたします。

<学習発表会>

- 発表の形態をペア学年（1年と2年、3年と4年、5年と6年）とする。
- 発表は、各学年の発達段階にあったもので教育課程に準じたもの、または、教育課程の発展的な内容（合唱、リコーダーなど授業で用いる小型の楽器を使用した合奏、群読、劇、ポスターセッション）にする。それに伴い、小道具や衣装・背景の制作はできるだけ控え、授業で用いない楽器や大型の楽器を用いた合奏などは行わない。
- 保護者の参観については入れ替え制とし、発表学年の保護者のみの参観とする。また、参観場所の抽選を廃止する。

<持久走大会>

昨年度までの三崎池のコースで実施した場合は、次のような課題があった。

- ・ 子どもがけがをしたり、事故にあったりするリスクが高い。
- ・ 大会運営に多くの人員が必要である。
- ・ 大会実施時期にインフルエンザ等が流行して学級閉鎖等が起こると、日程変更をすることが難しい。



そこで、これらの課題を解決するために、また、「オンリーワン」の子どもを目指していくことを踏まえ、他人との競争に意識が向きがちな「持久走大会」という名称を「長距離走記録会」に変更するとともに、実施方法を次のように見直したい。

- コースをグラウンド内とし、距離を短くするとともに、体育の授業で行う練習と記録会本番のコースを同じとすることで、子どものけがや事故のリスクを減らしていく。
- これまで休み時間に行ってきた駆け足は実施せず、その代わりに体育の授業内で5分間走などを実施し、継続的な取組の機会を確保する。
- 実施日については、保護者の参観場所（運動場以外のアスファルト部分）をしっかりと確保するために、1年と2年、3年と4年、5年と6年で実施日を別々にする。このため、年間計画でお伝えをした実施日の1月23日（木）と予備日の1月24日（金）を次のように変更する。

1・2年—実施日：1月23日（木）、予備日：1月30日（木）

3・4年—実施日：1月22日（水）、予備日：1月29日（水）

5・6年—実施日：1月17日（金）、予備日：1月24日（金）